

まちのできごと



▲調印後握手する鳴海町長と長内金木郵便局長

災害時は 相互協力！

二月十九日、金木郵便局（局長 長内良毅）、嘉瀬郵便局（局長 山中教義）と町は地震や洪水などの自然災害時に相互に協力しあう「災害時における両者間の協力に関する覚書」を締結しました。

万一の災害発生時に郵便局側は、郵政事業（郵便、貯金、保険）にかかる災害特別取り扱い並びに医療救援活動を実施、被災者に対して救援物資の迅速な搬送や避難所への臨時郵便差し出し箱を設置、町からの被災状況に関する情報交換や、さらに郵便局が管理する施設や用地を避難場所、物資集積場所として提供する内容となっています。

金木町農業講座

肥料の量や 追肥の時期に注意を！

金木町産業振興会議（金木農協、嘉瀬農協、金木町農業委員会、金木町）が主催した「平成九年度金木町農業講座」が二月二十七日、中央公民館で開かれ、複合農業を目指している農家ら約九十人が参加しました。

平成十年度から緊急生産調整対策（転作）が始まること

で、稲作と転作が結びついた水田営農を確立し、「むつほまれ」の一層の食味向上を図りながら、今年から本格的に作付けされる「つがるロマン」の栽培技術向上のための講座や、またトマトに次ぐ第二、第三の野菜生産拡大を目指した講演も行われました。

シルバーゲートボール大会



▲はつらつプレーを展開

金木町社会福祉協議会（会長 角田正男）と金木町ゲートボール協会（会長 千田正雄）によるシルバーゲートボールが二月二十日、農業者トレーニングセンターで開かれました。

大会は、春からの本戦に向けての練習を兼ねた町内対抗戦で、技術はもちろん頭脳作戦が勝敗を左右するとあって真剣な眼差しで熱戦を繰り広

げていました。

この日、町内の老人クラブから六チームが参加。今年初めてของเกมということで、思い通りにならないスティックさばきに苦戦していたものの、寒さも吹き飛ばせとばかり歓声を上げていました。

結果は次の通りです。

優 勝 — 喜良市チーム
準優勝 — 蒔田チーム
第三位 — 嘉瀬 A チーム
第三位 — 嘉瀬 B チーム
敢闘賞 — 金木チーム
敢闘賞 — 川倉チーム



▲真剣に講話に耳を傾ける

減反や米価の下落による所得減少を、単収では米よりも高い野菜作りで補い、安定した農業経営を目指す参加者は、講師の話に耳を傾け、メモを取っていました。



▲和やかな雰囲気で作るマスコット

三月五日、金木町交通安全協会嘉瀬婦人部(部長 沢田スゲ)では、四月の全国交通安全運動週間に向けて、ドライパーに配布する手作りのマスコット製作を嘉瀬公民館で行いました。

同婦人部は平成六年に結成され、全会員が一致団結して安全運動を推進したいと考え、今年初めてマスコット製作に取り組みました。会員らは、各自が自宅で使用しなくなった布切れを使い、仕事の合間を見つけて猫に見立てたマスコットを二百二十個製作。名付けて「ニヤット君」。この



▲熱戦を繰り広げた「カラオケ大会」

長尾会長は「各団体が力を結集すれば、町のためには何かできるのではないかと。町を思う気持ちは皆一緒で今は若い力が必要。私たちはサポート役ですよ」と、交流会の成功を喜んでいました。

事故撲滅目指し マスコット人形作り



▲鳴海町長と談笑する中谷園長ら

金木町名誉町民であり、公認会計士をしている伊藤忠吉氏の福祉基金を二月九日、特別養護老人ホームあしの園(園長 中谷衛)と大東ヶ丘サントピアホーム(園長 花田昭一)に贈りました。

鳴海町長から福祉基金を手渡された中谷園長らは、「施設のイベントや運動器具などの購入に大切に使用させていただきます」と話していました。

伊藤忠吉福祉基金

あしの園・サントピアホームへ

地域活性化団体交流会

五団体が交流

カラオケやビンゴで親睦を深める

金木町の地域活性化活動の「ブライダル」「金木町青年活団体・個人が一同に集い、団体間の交流を図り、町活性化に寄与したい」と二月二十日、初めての金木町地域活性化団体交流会(会長 長尾重孝)が中央公民館で開かれました。

長尾会長らの呼び掛けに、「ラブリー金木」「花のニッパチかなぎ応援団」「かなぎ各団体の代表が活動内容やメンバー紹介をした後、



▲渋谷建設のみなさん

出稼事業所訪問

みんな元気に 頑張ってます



▲池田建設のみなさん

当町の出稼者を激励訪問する、平成九年度出稼農業者等特別対策事業による事業所訪問が、去る二月十一日から十三日までの日程で行われ、鳴海町長、古川幸治農業委員会会長ら三人がふるさとの情報を伝え、出稼者を激励した。今回の訪問は今までに一度も訪問したことがなく、金木町出身者が永年就労しお世話をいただいている東京都西多摩郡瑞穂町の(有)池田建設(野宮武雄さんら七名)、神奈川県平塚市の渋谷建設(平川光平さんら七名)の二事業所を選択した。

二事業所を訪問し、まず社長と会談する。社長からは、不景気であるが仕事の受注については問題なく、平成十年度の仕事についても既に決まっているので、従業員にも安心してほしいとのことであった。また、金木町出身者は仕事に対しても真面目であり、今後も長い付き合いをしたいので、もっともつと従業員を金木町から紹介してほしい。そして、従業員に対する安全就業に関して言うまでもなく、福利厚生についても、金木町近くで夫婦揃っての温泉旅行(従業員の妻の顔が分かるのでその後、電話での連絡が取り易い)。さらには、海外(ハワイ等)旅行も行っている。鳴海町長、古川会長からは、永年当町出身者がお世話いただいているお礼と今後とも雇用についてよろしく願います等の要望を社長に依頼する。その後、現地における指導相談会を開催し、当町出身者十三名の方々と懇談を行う。鳴海町長からは留守家族の様子や町の出来事、そして古川会長からは平成十年度から始まる「緊急生産調整推進対策」を中心に説明、そして元気で安心して就労されるよう激励のあいさつがあった。

就労者からは転作の問題等、身近に迫る質問が多く出された。その後、訪問団が持参した、せんべい、梅ジュースで杯を交わしながら「もう一頑張りして、元気な顔で金木町での再会」を楽しみにして、無事指導相談会を終了した。(報告〓金木町農業委員会)

こくみんねんきん 4月から保険料が 変わります

国民年金の保険料が四月分から月額一三、三〇〇円に変わります。国民年金が支給する基礎年金は、加入者が納めた保険料のほかに国が三分の一を負担して支払われています。人生八〇年時代を迎え、ますます高齢化が進むなかで、老後の生活を安心して送るための生活保障として、年金はなくてはならない重要な役割を果たしています。また、老後だけでなく、病気やケガで障害が残ったり一家の働き手を失ったときにも保障をしてくれます。国民年金は、このように老後や「もしも」のときに備え、みんなが費用を出し合って生活の安定を図る目的でつくられた社会保障制度です。そのため保険料は、年金額とのバランスや生活水準などを考慮し、将来にわたって年金制度が健全に運営できるように、段階的に引き上げられているわけです。誰もが安心して老後を迎えることができるように、年金制度の意義と保険料の引き上げにご理解をいただくとともに、お願いいたします。

平成9年度分、国民年金保険料の 納付期限は4月末日です

平成九年度分の保険料(平成九年度四月から十年三月分まで)の納付期限は、四月末日までです。保険料を納めずに、未納のままにしておくと、老齢基礎年金が減額されたり、受けられないこと、老後基礎年金が減額されたり、受けられないこと、万一のとき障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられなくなることもあります。保険料は忘れずに納めましょう。

金木病院カルテ (145)

最近5年間の検診より

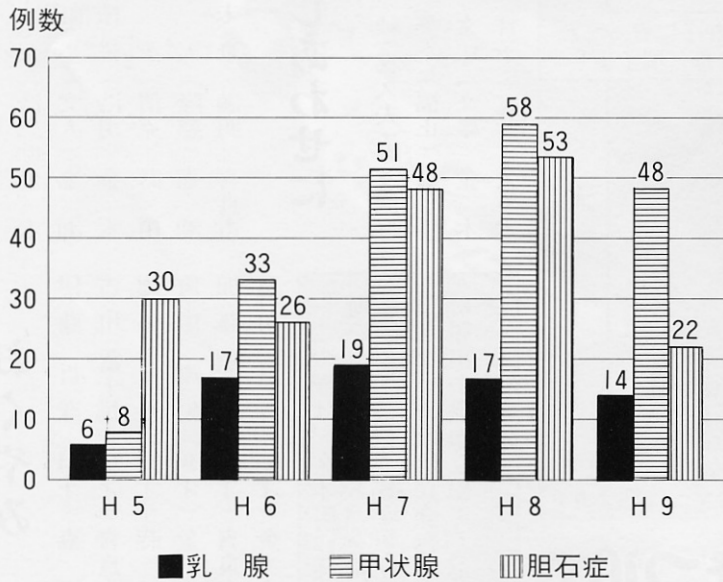
外科医長 唐牛 忍

昭和五十九年に乳癌・甲状腺検診がスタートし、翌六十年からは超音波検査による胆石症検診も加わり、今年は十五年目になります。そこで最近五年間の結果を振り返ってみることにしました。

まず、対象である三十歳以上の女性人口は、漸減傾向にあり現在四千七百名弱となっています。検診の受診者は多少ばらつきがありますが、平成八年からは一千名を越えていて、受診率としては二二、二三%です。できればこれが三〇%位になってくれればと思っておりますが、私たち病院側や保健婦さん、保健協力員の方々だけの努力だけではだめで、町民皆さんが自分の健康は自分で守るという考え方を持っていたことが重要になります。

次に検診の結果を見ましょ

年度別部位別要精検者数



う。棒グラフにあるように年度別・部位別に精密検査(精検)が必要な人(要精検者)

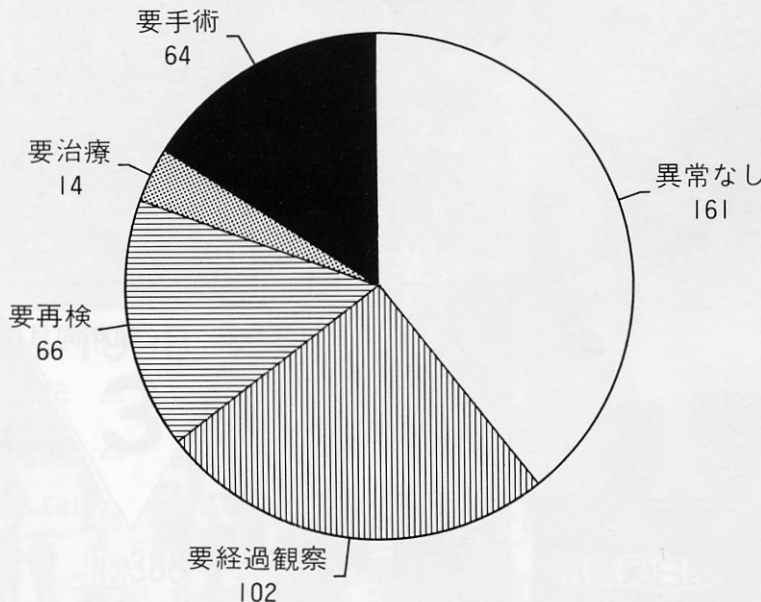
た人は四百七名(九〇・四%)でした。ほかの病院を受診した方もいるでしょうが、約一

の数は最近では甲状腺が一番多く、胆石症がこれにつき両者で約八〇%を占め、乳癌がもっとも少なくなっています。この五年間の要精検者数の合計は四百五十人で、当院に限って言いますと精検を受診し

の方約四〇%で、手術が必要だと言われる方(約一五%)

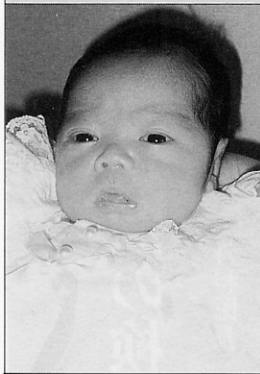
割の方は精検を受けていないことになり、これでは何のために検診を受けたのかわかりません。精検が必要と言われたからといって怖がらずに、ぜひ受診してください。それに円グラフにありますように精検での結果で「異常なし」

精検後の内訳



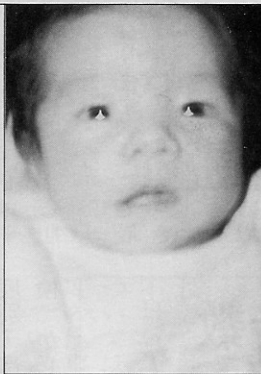
よりもずっと多いのです。間もなく春とともに検診のシーズンがやってきます。病気が「早期発見・早期治療」が一番です。皆さんと今年も検診会場で会えるのを楽しみにしています。

はじめまして



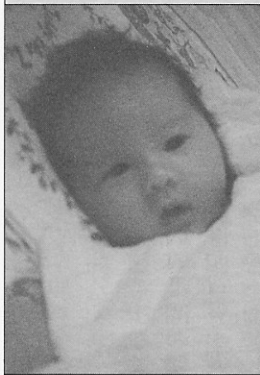
祐ゆう
誓せい

明るく元気な子に育ってほしい
(父 浩司より)



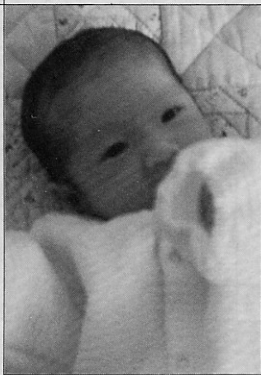
一かず
真ま

健康で元気な子に育ってね
(母 瑞子より)



未み
来く

待望の女兒、いつも健康であれ
(父 満明より)



天そら

元気で素直な子に育つように
(父 隆慈より)

3月3日 ひなまつり



第2保育所

おめでとう

二月届出分

- 津島 譽子 (登) 金木
- 沢田 文仁 (文雄) 金木
- 三濁 美幸 (福正) 川倉
- 小野 純 (喜久夫) 鱒ヶ沢町

おしあわせに

- 岡田 未み来く (満明) 喜良市
- 伊藤 天あま (隆慈) 嘉瀬
- 吉田 薫かほ (清克) 時田
- 工藤 祐ゆう誓せい (浩司) 金木
- 山中 虹にじ步あゆ (文人) 嘉瀬
- 山田 江え里り奈な (浩二) 金木
- 沢田 一いち真ま (一仁) 金木
- 大橋 江え里り奈な (一仁) 金木

- 白川 只春 (68才) 金木
- 加藤 彌一郎 (84才) 喜良市
- 角田 翔矢 (8才) 金木
- 徳田 イサ (93才) 時田
- 古川 富士雄 (70才) 喜良市
- 伊藤 哲彦 (84才) 嘉瀬

おくやみ

この欄は、金木町に住所を有している方々を掲載しています。掲載を希望しない方は町民課窓口に出してください。

善意

▼社会福祉協議会へ (敬称略)
・金木町料飲店組合 (組合長=田中豊蔵)
「チャリティーカーオケ感謝の夕べ」での収益金 53,000円

つがる弁クイズ

2月号の答えは「あれ、本当じゃないの冗談(嘘)なの」でした。
当選者は次の2名です。
金木 藤元 佳奈子さん
金木 加藤 千枝さん
大変ご好評をいただきました『つがる弁クイズ』は2月号をもちまして、終了させていただきます。今後とも「広報かなぎ」のご愛読をよろしくお願いいたします。

人口と世帯

	2月末現在	前年同月比
男	5,873人	△ 51人
女	6,453人	△ 76人
計	12,326人	△ 127人
世帯数	3,928	0